

～ 小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します。～

☆ 小学校6年生の進学先中学校訪問

・児童の中学校進学への自覚を深めたり期待を高めたりするとともに、不安解消を図ることを目的として、2月10日(月)午後、来年度に入学予定の児童が中学校を訪問し、授業や部活動の体験を行いました。



日程	
時間	児童の行動
13:10～	○ 徒歩や市バス、 保護者の車で中学校へ移動
13:50～14:05	○ 中学校の多目的室に集合 ・ 校長先生のお話 ・ 日程確認・諸注意 ・ クラス分け確認 ○ 教室へ移動
14:15～14:40	○ 体験授業 1組：国語 2組：数学 3組：理科 4組：英語 しらさぎ学級：作業学習 「コースター作り」
14:40～14:50	○ 移動
14:50～15:30	○ 部活動見学 ① 野球 ② バスケットボール（女子） ③ バレーボール（男子） ④ バレーボール（女子） ⑤ サッカー ⑥ ソフトテニス（男子） ⑦ ソフトテニス（女子） ⑧ 卓球 ⑨ 柔道 ⑩ バドミントン ⑪ 吹奏楽 ⑫ 美術
15:40～15:45	○ 校庭集合 ・ まとめ、ふりかえり ・ 中学校3学年主任の話 ・ 解散

◎ 本年の小中一貫教育を振り返ってのアンケート

○ 本地域学校園の小中一貫教育の成果と課題を明らかにするため、毎年この時期に、小学校6年生と中学校1年生を対象にアンケート調査を実施しています。

○ 小学校6年生（107人）に（ ）内数字は昨年度の値

① 進学を不安に思っていましたか。
(1) とても不安 15(13)%
(2) 少し不安 52(38)%
(3) あまり不安でない 21(28)%
(4) 全く不安でない 12(18)%

② 今、進学を不安に思いますか。
(1) とても不安 7(8)%
(2) 少し不安 45(32)%
(3) あまり不安でない 36(37)%
(4) 全く不安でない 13(20)%

③ 進学で不安なことは何ですか。
(複数回答可)
(1) 勉強が難しくなる 77(84)%
(2) どんな先輩がいるか 51(29)%
(3) 友人関係やいじめのこと

41(29)%

(4) 中学校の校則 33(29)%
(5) 部活動 32(35)%
(6) どんな先生がいるか 16(17)%
(7) 1日の生活のこと 15(32)%
(8) 教科担任制 13(19)%

④ 小中一貫教育の取組で、
不安は変わりましたか。
(1) 減った 20(24)%
(2) 少し減った 40(32)%
(3) 変わらない 36(34)%
(4) 少し増えた 3(3)%
(5) 増えた 2(3)%

⑤ 不安を減らした取組は何ですか。
(複数回答可)
(1) 中学校訪問（新規） 79(72)%
(2) 中学校説明会 36(46)%
(3) 相互乗り入れ授業 22(66)%
(4) 運動会での交流 12(6)%
(5) クリーン活動 11(10)%
(6) あいさつ運動 5(3)%

○ 中学校1年生（119人）に（ ）内数字は昨年度の値

① 昨年度の小中一貫教育の取組で、進学への不安はどう変わりましたか。

(1) 減った 22(12)% (2) 少し減った 38(39)% (3) 変わらない 29(40)% (4) 少し増えた 8(6)%
(5) 増えた 3(6)% (6) だいぶ増えた 0(0)%

② 不安軽減に役立った取組は何ですか。
(複数回答可)

(1) 中学校訪問 65(74)%
(2) 中学校説明会 42(54)%
(3) 運動会での交流 22(11)%
(4) クリーン活動 19(15)%
(5) 相互乗り入れ授業 18(35)%
(6) あいさつ運動 16(11)%

④ 小学校の先生による相互乗り入れ授業は役に立ちましたか。

(1) とても役に立った 14(9)%
(2) 少し役に立った 57(40)%
(3) どちらでもない 24(39)%
(4) あまり役に立たなかった 3(8)%
(5) 役に立たなかった 3(2)%

③ 中学校入学後に困ったと思ったことは何ですか。
(複数回答可)

(1) 勉強が難しくなった 87(76)%
(2) 先輩との人間関係 32(10)%
(3) 校則のこと 30(37)%
(4) 部活動 25(28)%
(5) 中学校の生活になじめないこと 24(21)%
(6) 友人関係やいじめのこと 17(10)%
(7) 教科担任制 14(15)%
(8) 先生との人間関係 14(11)%
(9) クラス変え(1人)、あまり勉強ができない(1人)

⑤ 小学校の先生による授業は、どのように役立ちましたか。
(複数回答可)

(1) 小学校で学んだことを思い出すことができた 71(58)%
(2) 小学校の先生の授業は、丁寧でわかりやすかった 32(58)%
(3) 授業が楽しく、やる気が出た 31(42)%
(4) 昨年の担任の先生に会えて安心した 22(27)%
(5) 授業中にそばに来て、個別に教えてもらった 5(8)%
(6) 久しぶりに先生に会えてうれしかった(1人)
一切役に立たない(1人)

○ 小学校6年生における進学への不安感について、6割の児童が小中一貫教育の取組により軽減されたと感じているようです。生活面では、上級生や友人との人間関係への不安感が高いようです。中学校入学後、十分に配慮していく必要があります。

中学校1年生でも、6割の生徒が小中一貫教育の取組による不安軽減を感じており、成果が見られます。小学校の先生による授業については、「小学校で学んだことを思い出すことができた」という意見が非常に高く、既習事項を活用し、つながりを持たせながら学習を進めていく重要性を再確認することができました。

今後も子どもたちの声を大切に、小中一貫教育の取組に生かしていきたいと考えています。

◎ 取組の様子

小中相互乗り入れ授業

岡本小学校

◆ 2月4日（火）鈴木健介 教諭 社会「日本国憲法三大原則」



子どもたちは熱心に授業に取り組んでいました。デジタル教材を使用し、中学校の公民教科書と日本国憲法を見せたことが効果的だったと思います。また、公民の他に地理、歴史の教科書を見せ、中学校社会科の簡単な紹介をすることができました。

◆ 2月25日（火）後藤康愛 教諭 理科「実験 電流によって発生する熱」

実験を通して、電流を流し続けると、時間の経過とともに水の温度が規則的に上昇していることに気付くことができました。更に一部の児童は、それが比例の関係にあることを見出すことができました。

電源装置やヒーター、導線などを中学校から持って行きましたが、子どもたちに大変好評でした。



岡本西小学校

◆ 2月20日（木）齋藤雅大 教諭 英会話「What do you want to be?」



子どもたちの学習活動への参加の意欲は高く、指導者の英語での指示に良く反応していました。学習活動の全ての場面で「わかれよう」とする様子が見られ、学習者・指導者ともに楽しい時間を共有することができました。

6年1組、2組それぞれの担任の先生の指導法には学ぶことが多く、中学校での教科指導に多くを生かすことができると感じました。

中学校

◆ 1月31日（金）渡邊淑子 教諭 数学「空間図形」

生徒が皆、きちんと話や意見を聞き、意欲的に学習活動に取り組むなど、基本的な学ぶ姿勢が育っていると感じました。また、指導者との関係の良さも強く感じました。

普段、低学年の子どもを相手に話している、自分の話し方の特徴に気付きました。小学生とは発達の段階が違うので、中学生を相手にする場合には、話し方を簡潔にするよう意識しました。個人の学習用具の準備なども含め、子どもたちの発達の段階に応じた接し方について考えさせられました。



◆ 2月13日（木）羽石和夫 教諭 理科「地球 活きている地球」



一年前に小学校で学習していた児童が、授業に集中して取り組んでいる様子を見て、成長を感じました。

授業参画を通して、中学校での学習は、小学校で学習した事柄を、更に深く掘り下げた内容となることから、小学校での基礎基本をしっかり学ばせなければならないと改めて思いました。

次年度へ向けて教科内での単元研究を深められたことは、有意義でした。

地域学校園全体研修会

2月3日（月）、岡本小学校を会場に本年度最後の地域学校園研修会（全体会）が開かれ、平成25年度の活動を総括し、部会ごとに成果と課題を発表しました。

部会名	成果	課題
学力向上	道徳年間指導計画の地域学校園化	児童生徒の家庭学習の習慣化
学校生活適応支援	「生活のきまり」の策定	児童生徒の規範意識の醸成
教育相談	スクールカウンセラーの小6授業参観	スクールカウンセラーの効果的活用
特別支援教育	情報交換・事例検討会の充実	地域への啓発活動
健康・体力	児童生徒の運動への積極性の高揚	正しい姿勢による健康増進
食育推進	児童生徒と給食調理員さんとの交流	食事のマナーの習得と向上
交流連携促進	小中一貫教育各事業の定着	事業の効率化の促進
学校事務	「義務教育9年間の経費一覧」の作成	地域学校園予算の編成・執行
学校図書館	「図書館利用の手引き」を用いた授業実践	「調べ学習の手引き」の活用と工夫・改善



学力向上



学校生活適応支援



教育相談



特別支援教育



健康・体力



食育推進



交流連携促進



学校事務



学校図書館

特別支援学級 小中合同校外学習 “雪あそび”



2月24日（月）、すこやか河内学校園特別支援学級小中合同校外学習会“雪遊び”が行われました。

この行事はこれまでに4年間続けて行われており、児童生徒も慣れた行事です。那須甲子少年自然の家に近づくと、除雪した雪の壁がバスの高さよりも高く、雪の多さに圧倒されました。

雪遊びは、主にそり滑りを行いました。自然の家所員の指導と見本演技があり、その後自由に滑りました。けががないよう、上りと下りが決められ、安全に楽しく活動することができました。活動中は、中学生が班長として、小学生の面倒をみました。ひまわり学級、にこにこ学級、しらさぎ学級の児童生徒は、いつも助け合い励まし合って活動しています。雪あそびで学んだ、協力・助け合い・自立を、これからも大切にしたいと思います。

☆ 地域学校園事務室より「就学援助について」

宇都宮市には学校教育法第19条に基づき、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学校の諸経費の一部を援助する「就学援助制度」があります。内容は、1か月925～1,989円の学用品費、給食費や修学旅行費・校外活動費の実費などが、年3回に分けて支給されます。認定の基本は、生活保護基準に基づく世帯の総所得金額になるため、市役所の所得調査と地区民生委員による生活状況確認の訪問への同意が必要です。

毎年学校ごとに出さなければならない受給申請書ですが、本地域学校園内では兄弟姉妹が小中に分かれて通学する場合には、小学校へ1部提出すれば中学校分は省略することが可能です。平成26年度に向けての申請手続きが始まりますので、質問等ございます場合には各学校の事務職員にお問い合わせください。